

【市民文教委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

		No.	1
第1編	まちづくり戦略		
第1章	希望がもてるまちづくり		
第1節	子育て・教育環境の充実		

点検評価項目

2 親と子が安心して健やかに過ごすことのできる環境づくり					
(3)子育て支援の充実					
④子育て支援活動団体への支援					
子育てをする家庭や子どもに対して地域ぐるみで子育て支援を進めるため、舞鶴子ども育成支援協会やNPO法人、子どもの居場所づくりに取り組む団体など、子育て支援に取り組む各種団体の支援に努めます。					
数値目標	—				
年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
目標値	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—
数値目標に係る特記事項					
点検評価項目施策の推進に係る説明					
令和5年度取組・進捗状況					
こどもたちが心身ともに健やかに成長することを目指した地域ぐるみの子育て支援活動や青少年の健全育成活動を推進する「子ども育成支援協会」に補助金を交付し、「中学生の主張大会」等の活動を支援しました。 また、小学校区単位で組織され、地域の特性を生かした子育て支援事業を実施されている、各「地域子育て支援協議会」に、補助金を交付し、その活動を支援しております。 さらに、こどもの居場所づくりの一環で取り組んでいる「こども食堂」に対しては、民間基金や府の補助事業を案内しました。 加えて、運営代表者との意見交流の中で要望があった、こども食堂のPRを行うため、市のホームページや広報誌で特集記事を掲載したほか、チラシを配架、FMラジオに運営代表者と一緒に出演しました。 令和5年度は、新たなこども食堂の立ち上げや、継続的な運営を目指す団体を支援するため、市内公民館の料理室を12か月間無償で利用いただける、こども食堂スタートアップ事業を開始しました。 子育て支援基幹ひろばが中心となり、市内3つ子育てひろばと連携した会議を月1回定期的に開催し、各ひろばの取組内容や日々の相談ケースの共有のほか、相談内容に対する課題解決の方策について話し合いを実施しました。 また、舞鶴市子育て支援サービス「まいココ」の活用により、「まいココ」を保有する保護者等に対し、子育て活動団体等の紹介や、団体が行うイベントの情報提供などの側面支援を実施しました。					
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について					
これまでの子育て支援団体への支援を継続するとともに、こどもの居場所づくりについては、国が取りまとめた「こどもの居場所づくりに関する指針」を念頭に置きながら、令和6年度に策定予定の第3期こども・子育て支援計画に基づき、こども・子育て支援関係機関等と連携しながら検討してまいります。					

担当課

子育て応援課、こども家庭しあわせ課

【市民文教委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

		No.	2
第1編	まちづくり戦略		
第1章	希望がもてるまちづくり		
第1節	子育て・教育環境の充実		

点検評価項目

3 夢に向かって将来を切り拓く子どもを育成するための環境づくり

(2)豊かな学びを支える教育基盤整備の推進

②学校施設の長寿命化と質の高い教育環境づくりの推進

今後、更新時期を迎える学校施設について、学校施設長寿命化計画に基づく計画的な学校施設の長寿命化等に取り組み、安全・安心な教育環境を確保するとともに、財政負担の抑制とコストの平準化を図ります。
また、情報活用能力を育成するためのICT(情報通信技術)教育環境の充実を図るとともに、質の高い学びを実現するための学校図書館の充実を図ります。
少子化の進行状況を踏まえ、学校の適正規模・適正配置について検討を進めます。

数値目標	—				
年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
目標値	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—
数値目標に係る特記事項					

点検評価項目施策の推進に係る説明

令和5年度取組・進捗状況

学校施設の安全性・機能性を確保するため、学校施設長寿命化計画に基づく計画的な学校施設の整備に取り組み、老朽化した施設を改修することにより施設の長寿命化を図るとともに、安全・安心な学校生活に必要な教育環境の整備を実施した。
〈改修内容〉
○倉梯小学校教室棟長寿命化改修工事(令和5～6年度)
令和5年度の進捗:建物外部、教室棟2F、3Fの改修が完了
○安全点検・点検に伴う器具の更新等
高圧受変電設備改修(城北中、大浦小)、避難救助袋取替(高野小)、
給水ポンプ取替(青葉中、倉梯第二小)

児童生徒の情報活用能力を育成するため、活用型情報モラル教材「GIGAワークブック まいづる」を作成し、授業で教材を活用することによりICT教育環境の充実を図った。

図書館課との連携により、学習用タブレットで利用できる電子図書館のアカウントを市内全小中学校の児童生徒及び教職員に配布し、朝学習等で活用したり、市立図書館の司書が学校へ出向き子どもたちに本を紹介する「ブックトーク」を実施したりするなど、読書・学習活動の充実を図った。

学校の適正規模・適正配置に向けて、教育環境の在り方懇話会における意見を踏まえた将来ビジョンの策定に向け調整を進めた。

取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

引き続き、計画的な学校施設の整備のほか、個別の設備改修を実施し、安全・安心な教育環境の維持を図る。
情報モラル教材の活用により、継続的に情報活用能力の育成を図るとともに、市立図書館との連携を続け、子どもたちの読書・学習活動の充実を図る。
また、学校の適正規模・適正配置について、地域の方々との対話や懇談を行いながら、将来ビジョンの策定などを進める。

担当課	教育総務課、学校教育課
-----	-------------

【市民文教委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

		No.	3
第1編	まちづくり戦略		
第1章	希望がもてるまちづくり		
第4節	豊かな自然環境を守り育むまち		

点検評価項目

2 循環型社会の確立

(1)ごみ減量の取組

①3R(ごみの減量、再使用、資源化)の推進

循環型社会形成の基本原則である3R(リデュース、リユース、リサイクル)を市民・事業者・行政が一体となって推進し、「誰もが住みやすい持続可能なまち舞鶴」の実現を図ります。

数値目標	市民1人1日当たりのごみ排出量				
年度	2021年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
目標値	872.8g (基準値)	861.1g	854.3g	848.9g	845.7g
実績値		794.2g			

数値目標に係る特記事項

点検評価項目施策の推進に係る説明

令和5年度取組・進捗状況

【経過～前期実行計画の状況】

・令和3年7月に3Rの推進とごみ排出に応じた公平な費用負担を図るため、ごみ処理手数料の見直しを行い、「埋立ごみ」「プラスチック容器包装類」「ペットボトル」について、指定ごみ袋制による有料化、可燃ごみ指定ごみ袋の値上げを実施した。また、同時に「プラスチック容器包装類」「ペットボトル」の月2回収集を開始した。

【令和5年度の取組】

・令和5年度の1人1日あたりごみ排出量は794gとなり、ごみ処理手数料見直し前の令和2年度と比較し約12%減少、前年の令和4年度と比較すると約3%減少しており、ごみ処理手数料見直しにより大幅なごみ減量を達成した。また、令和4年度と比較しても市民1人1日あたりごみ排出量は減少傾向にあり、市民におけるごみ減量意識の高まりと、ごみ排出行動変化を確認している。

・生ごみのうち約40%を占める食品ロスの削減を目的に、京都府立大学と連携し「食品ロス実態調査」を実施し、食品ロスの削減を啓発するとともに、食品ロス削減における事業効果に関する調査研究を実施した。

・このほか、ごみ分別ルールブックの戸別配布やごみ減量出前授業等のごみ減量啓発、リサイクルプラザでのフリーマーケット、再生家具の展示販売、地域や学校等での集団回収事業の支援等、リユース・リサイクル事業を実施。

取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

▼目標数値の再設定(一般廃棄物[ごみ]処理基本計画の中間見直し時に検討する予定)

▼市民、事業者、行政が協力して、今後も引き続き、3Rの推進の取組や啓発活動を積極的に行っていきたいと考えます。特に、次世代を担う子供たちに対し、出前授業等を通じて、ごみの減量、資源化率の向上を図っていきたくと考えております。

担当課	生活環境課
-----	-------

【市民文教委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

		No.	4
第1編	まちづくり戦略		
第1章	希望がもてるまちづくり		
第4節	豊かな自然環境を守り育むまち		

点検評価項目	2 循環型社会の確立					
	(1)ごみ減量の取組					
	②効率的なごみの収集・処理体制の構築					
	新技術導入を検討するなど、効率的なごみの収集・処理体制の構築を図るとともに、ごみの排出機会の確保に向け、小売店での店頭回収の拡充や拠点型集団回収の活性化を図ります。					
	数値目標	—				
	年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
	目標値	—	—	—	—	—
	実績値		—	—	—	—
	数値目標に係る 特記事項					
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
	令和5年度取組・進捗状況					
	▼ごみの収集・処理体制の構築に係る新技術の導入の検討をするため情報収集。 ▼古紙と小型家電の拠点収集を実施。回収ボックス設置場所は以下のとおり。 【古紙回収場所】 市役所、西支所(西総合会館)、加佐分室(加佐公民館) 【小型家電回収場所】 市役所、西支所(西総合会館)、中央公民館(中総合会館)、加佐分室(加佐公民館)、 東図書館、西図書館、南公民館、大浦会館、城南会館					
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について						
▼他都市の先進的な事例や新技術の導入事例なども参考にしながら、収集運搬における効率化と事業に係る費用などを総合的に勘案し、舞鶴市の実情に見合ったごみ収集体制の構築を目指していきたいと考えております。						

取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

▼他都市の先進的な事例や新技術の導入事例なども参考にしながら、収集運搬における効率化と事業に係る費用などを総合的に勘案し、舞鶴市の実情に見合ったごみ収集体制の構築を目指していきたいと考えております。

担当課

生活環境課